

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年08月16日

計画の名称	熊谷市公共下水道計画												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和02年度 (1年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	熊谷市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	70	A	70	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値	最終目標値 (R2末)
1	下水道による雨水整備達成率を0%(R2当初)から100%(R2末)に増加させる。 下水道による雨水整備達成率 雨水整備済面積(ha)/雨水対策を実施すべき面積2.7ha	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
令和2年度の補正予算から本要素事業が防災・安全交付金に移行することとなったため、当整備計画の成果目標については、前述の交付金に係る整備計画と一体的に実施するものとする。												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	熊谷市	直接	熊谷市	管渠(雨水)	新設	別府排水区整備事業	管渠整備 A=2.7ha	熊谷市						70	-	
											小計						70		
											合計						70		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

事後評価の実施時期

学識経験者等の第三者から構成される熊谷市公共下水道事業運営審議会において、事業効果及び数値目標の達成状況について意見を求めた。

令和4年7月

公表の方法

熊谷市のホームページで公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

降雨時の浸水が軽減されたことにより、車両と歩行者の通行時の安全性が高まった。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

本計画で実施した雨水整備箇所の上流において雨水整備を必要とする箇所が残されていることから、今後も引き続き事業計画に基づき整備を進める。

